

山口県産「^{かの}鹿野あじわい豚」

生産者（団体）

鹿野ファームグループは山口県東部・北部地域で、「養豚」を中心に取り組んでいる生産団体グループ。いずれの農場も密接な協力体制を整え、鹿野ファームグループとして、その特徴である生産方式の「オールイン・オールアウト方式」や子豚生産から肥育出荷までの一貫した管理・肥育体系は同じで、安全性と品質を重視した生産を行っています。

2008年12月に「産直事業協定」調印。



阿武農場の生産者の皆さん

ハイポー豚って？

養豚先進国である「オランダ」で作られ出された品種です。一般的に流通している白豚は、3系統交配により生産される「三元交配」種ですが、「ハイポー豚」は4系統の豚の良いところをかけあわせた「四系統交配種」。品質のばらつきが少なく、保水性が高く、柔らかくてきめ細やかな肉質が特徴の、おいしい豚肉です。

品質へのこだわり

豚はデリケートな動物なので肥育環境が悪ければ、ストレスにつながり、良質の豚肉は得られません。

オールイン・オールアウト方式

鹿野ファームでは、豚の成長に応じて、それに応じた豚舎に豚を移動させる生産方式を取り、品質の向上と安定・均一化に取り組んでいます。数頭を単位とするグループに分けて管理することで、疾病感染リスクを抑え、必要以上の薬剤投与を避けられます。また、グループは同じ母豚から生まれた兄弟同士で分けられるので、ストレスも抑えられ、健康的に育てられます。豚舎移動は総入れ替え（オールイン・オールアウト）することで、豚舎の清掃・消毒および一定の空白期間を設けるといった徹底した衛生管理を行っています。

（肉豚エリアはオールイン・オールアウトにならない場合があります。）

安全性に配慮した肥育・飼料管理

成長促進や肉質改善のためのホルモン剤は一切使用せず、と畜前約110日間無薬飼料を与えることを基本プログラムとしています。ワクチンを主体にした衛生管理で疾病を予防する投薬プログラムを作成し、残留抗生物質の心配のない安全で美味しい豚肉をお届けしています。

生産者との交流

取り扱いを開始した1993年より、山口県内生産者である鹿野ファームとの組合員交流は、産地見学や商品セミナー等盛んに行われています。また、2012～2013年度はみんなでおすすめ商品として、生産者・組合員・職員が一緒になった学習会が多く取り组まれました。

鹿野あじわい豚は阿武農場で生産

生協向けの鹿野あじわい豚は現在、鹿野ファームグループ阿武農場で、専用の飼料で肥育されています。飼料には主に麦と国産米、海藻粉末、Non-GMO（遺伝子組み換えしていない）とうもろこしを使用。麦を飼料に入ると、サシ（※）が入りやすくなったり、脂肪分が締まり味が良くなります。

※赤身の中に網の目のように入っている脂肪。霜降りの脂部分。



ばら肉は炒め物に最適。いろいろな野菜を炒め、塩麴で免疫力アップ。味わい深い、美味しい野菜炒めの出来上がり。食欲をそそります。ロースはよく生姜焼き、トンカツに使います。キャベツ、トマト、きゅうりがとんかつに華を添えてくれます。年を取っても体に大切なお肉。鹿野あじわい豚を食べ、体力をつけましょう。（宇部市 N.Yさん）